

【2】卒業生の合格体験記

進学編

～四年制大学～

福岡教育大学 教育学部 中等国語 前期一般入試 合格

私は国語の教員になりたいという夢があり、中学校と高校の両方の教員免許が取得できる、福岡教育大学の中等教育教員養成課程を志望しました。

福岡教育大学は国立大学なので、共通テストと二次試験の両方を受ける必要があります。11月までは基礎をしっかりと理解するために各教科の教科書を読み込んだり問題集を2周くらい解いたりして、12月からは共通テストの過去問をどの教科も大体10年分(本試・追試)を解きました。二次試験の対策は、共通テストが終わってから始めましたが、二次試験の科目数が多い人は、共通テストの対策と並行して少しずつ進めてもいいと思います。

私は直前の模試を除くと、3年間で最高でもC判定までしか取ったことがありませんでしたが、志望校を変えることなく勉強に取り組み続け、無事合格することができました。判定が良くないから志望校のレベルを下げる、というやり方も一つの手だとは思いますが、判定はあくまでも判定なので、志望校の変更を考えるより先に、学力を上げることに集中すべきだと思います。

太宰府高校は一般受験者が少なく、周りに流されそうになることも多いと思いますが、受験期の辛さはそのまま自分の自信に繋がるので頑張ってください！応援しています！！

佐賀大学 芸術地域デザイン学部 芸術表現コース 有田セラミック分野 総合型選抜合格

私が受験し合格したのは、佐賀大学の芸術地域デザイン学部です。佐賀大の芸術学部には2つのコースがあるのですが、私は実技がメインの芸術表現コースで、陶芸を専門的に学ぶことができる有田セラミック分野を選択しました。私が受験を決めた理由は、大学を調べていく中で、陶芸に興味を持ち、専門的に学びたいという気持ちが高まったからです。

私は、小さい頃からものづくりや絵を描くことが好きでした。中学生の頃から美術関係の仕事につきたいと考え、太宰府高校芸術科で専門的に学び、知識技術ともに向上させようと努力を重ねてきました。実技では、コンクール入賞を目標に作品制作に励み、より多くの技術を習得するため工夫をしてきました。また、校内デッサンコンクールでは1位を目標に錬成会や日々練習に励み、その結果見事1位をとることができ、自分のモチベーションとなりました。校外でも、画塾の無料講習会に多く参加し、他学校の生徒や画塾の先生から刺激を受け、少しでもレベルアップできるように努力しました。

また、校外のプロジェクトにも積極的に参加し、自分の視野を広げました。この経験は進学のためのきっかけにもなり、参加してとても良かったと感じています。また自己分析を行い、気になる学校を調べ、オープンキャンパスやサマースクールに参加しました。多くの学校に実際に行くことで、より具体的に比較することができ、進路決定のための材料になりました。そして2年次の春休みから3年次の一学期までの間に受験先と受験方法を決定しました。3年次の夏休みから入試までは、出願書類の準備と入試対策を行っています。面接練習では、先生に指導を頂きながら、個人でも繰り返し練習し、自信をつけました。実技練習では、苦手だったアイデア出しの練習を家でも練習を行い、本番で焦らないよう努力しました。練習に励んだ結果、入試本番では、焦らず作品制作を進める事ができ、軸がブレることなく返答することができたので、努力してきた成果が出て本当によかったです。

西南学院大学 外国語学部 外国語学科 総合型選抜合格

私は入試準備に約1ヶ月間半かけました。内容としては、願書では、志望理由、活動報告、学習計画、大学卒業後の計画を書き、2次試験の準備としては、学習計画についてのプレゼンテーション作り、プレゼン練習、グループディスカッションの練習をしました。プレゼンテーションでは生徒会活動、SDGsプロジェクトの活動について発表を行いました。他にも、私は三年間通して、定期テスト、英検2級の取得、英会話に通ったことを経験したのでそれらもアピールしました。正直に言うと、この1ヶ月半はとて厳しくて諦めようと何度も思いました。

学校生活では、毎回の定期テストを大切にしており、80点以上を目指して頑張りました。生徒会活動では、会計という役職を担当しました。行事の企画運営を中心に取り組み、どうしたら生徒が楽しむことができ、効率的に行事が進んでいくのか皆で考えました。他にも特別支援学校や海の中道ゴミ拾いボランティアなどに参加し、学校外で沢山の人達と関わることができ、自分の考え方を広げる良いきっかけになりました。生徒会活動は大変な事ばかりでしたが、計画性の大切さや裏方で動く人たちの責任の重さを痛感させられました。SDGsプロジェクトについて、最初はどんな活動かさっぱり分からなかったのですが、とりあえず挑戦してみました。自分にしかない経験を積む事ができ、成長に繋がりました。英検は、1年次に3級、準2級。2年時に2級を取得しました。英検の取得は自分の自信に繋がり、他の教科のモチベーションにも繋がりました。私は英検の取得がきっかけで英語を好きになり英会話スクールに通うようにもなりました。

西南学院大学 人間科学部 児童教育科 学校推薦型選抜 指定校推薦合格

私は、高校1年時から評定をオール5にするために、苦手な英語の勉強を特に頑張りました。苦手だからこそ、英語検定の取得や、英単語の暗記を積極的に行いました。そのため、3年間を通して評定オール5の目標を達成できました。定期考査では、絶対に宝満賞以上を取るなどの目標を定めていました。自分の中で常に目標や、簡単に課題を設定することで、モチベーションを上げていました。しかし、目標点に届かないようなテストや、小テストへの取り組み方など、もっと努力できる場所もあったと感じています。

また、部活動では剣道部女子の大将を務めたことから、人のお手本となる行動を心がけ、3年間で人と協力することの大切さや、リーダーシップを身につけることの大変さを知ることができました。そして、将来、小学校教諭になるために、人前に立つ仕事をしようと思い、体育祭の応援団や学級委員なども経験しました。この経験は実際に、入試の面接に役立ったなと思っています。

高校3年間、勉強と部活動の両立を自分なりに頑張った結果、西南学院大学、児童教育科の指定校推薦枠をいただきました。この大学の指定校推薦は面接と、小論文でした。面接の対策は、友達や先生に協力していただき、内容の訂正に加え、場慣れするためにも何度も練習しました。小論文も同様に、先生に添削をしていただき何題も練習しました。本番に備え、何度も練習することが大切です。私は、ぎりぎりまで受験先を悩んでいました。在校生の皆さんは、受験先を決めてできるだけ早く決め計画を立て、受験に臨んでください。頑張ってください。

福岡大学 人文学部 英語学科 学校推薦型選抜 公募推薦合格

私は高校生活を通し努力したことが3つあります。1つ目は、自分の得意教科を伸ばすことです。私は中学生の頃、英語が不得意でしたが、単語の積み重ねと分からないことを積極的に質問していき、英語力を飛躍的に伸ばすことができ英語が得意教科になりました。この経験を活かし、私は高校に入学してからも基礎単語はもちろん長文や文法問題で分からないことがあったら、授業後に質問に行きました。そこで私は「分からないことはその日までにわかることにする」ことを目標に学校生活を過ごしました。

2つ目は、暗記科目を少しずつで良いので長い期間をかけて勉強することです。世界史では、年代やきっかけを紐づけて覚えることを頑張りました。古文単語と英単語は、イメージを頭の中でつくり一日で複数回見て覚え、長期記憶できるように頑張りました。

3つ目は、友人、先生とコミュニケーションを多く取ることを心がけました。人と沢山会話することでコミュニケーションスキルを学ぶことができました。そして先生方と話すことで、教員のやりがいや大変さを知ることができました。私は高校での生活を通し、色んなことを学びました。みんなと出会えて幸せです。本当にありがとうございました。

九州産業大学 生命科学部 生命化学科 総合型選抜入試合格

私が九産大を選んだ理由は、他の大学にはない最新の機器が揃っているところや、2年次からコースを選べることによって専門的な知識を学べるところに惹かれたからです。生命科学部に入りたいと思った理由は、私は食品系の企業に就職したいと考えており、食品を加工・販売することができる方がいいと思ったからです。食品会社に入りたいと思った理由は、以前、所属している食物部で作ったものをプレゼントするという機会がありました。その時に、衛生管理や添加物など安全性について興味を持ったからです。

私が九産大に入るために努力したことは、大学から配信されているスマートラーニングを何度も解き直したり、漢字の読み書きを勉強したり、学校から出ている数学の教科書を解いたり、面接練習を先生にお願いしてやってもらったりしたことです。口頭試問は先生に出そうな所をピックアップしてもらい、そこを重点的に覚えることで答えることができました。基礎学力テストでは、国語は漢字の読みと文章問題を、数学はスマートラーニングだけでなく、教科書の難しい問題をもっと解いておけばよかったと思いました。面接では、この大学でなくてはならない理由や自分の強みを全面的に押し出して答えました。様々なパターンの質問を想定していたので、止まることなく答えることができました。自分の強みに関しては、副部長や体育祭で会計長を務めたことで、仕事に対して責任感を持って行うことができるようになったなどの実績を答えました。体育祭の会計長をしていたため、準備で十分な勉強時間が取れず焦ってしまったので、これから受験をする人はコツコツと努力し、受験に焦らずに挑むことをおすすめします。

～看護・医療～

聖マリア学院大学 看護学科 学校推薦型選抜 指定校推薦合格

私がこの大学を志望したのは、高校の時に体調が悪く倒れてしまった時に優しく看護師の方が声をかけてくれたことがきっかけです。そのような看護師になるために、大学で専門的な技術や知識を学び、沢山の人とコミュニケーションをとっていきたいと思いました。大学では、看護モデルを使って実際に専門の看護師の方に患者さんの体調の状態などを伝える練習や道具を使って実際にやってみる練習などができます。私は、将来フライトナースになりたいと思っているので、その勉強もしっかりとしていきたいです。フライトナースに必要なことは、高いコミュニケーション能力と自分の意見を言えるような人です。だから、今のうちからたくさんの先生や友達と関わり、人の意見を聞くだけでなく自分の意見も言えるような人になりたいと思いました。そのようなことを学ぶために、聖マリア学院大学を志望しました。

聖マリア学院大学は、学校型選抜の指定校で受験しました。指定校推薦の受験では、小論文と面接があります。小論文は、文章を読み、筆者が考えていることをまとめ、それに対する自分の意見や考えを書くという問題です。面接では、3問ぐらい質問されます。質問内容は、志望理由ではない複雑な質問です。だから、今まで先輩たちが書いてきた資料などを見て、面接ノートに書くことが一番良いと思います。また、色々な先生方と面接の練習しておく、本番の際に気が楽になります。分からなくてもどうにかして答えることが大切です。大学で、沢山の人と関わり、色々なことを学んでいきたいです。理想とする看護師になるためにまずは国家試験に合格したいです。

福岡県私設病院協会看護学校 看護学科 学校推薦型選抜 指定校推薦合格

私は、中学生のときに将来は看護師になりたいと思いはじめました。その夢を叶えるために、高校に入学してからは、勉強と部活を両立できるように頑張りました。勉強では評定を4.5以上取れるように、日頃の授業に真面目に取り組み、テスト勉強も2週間前からコツコツ始めました。部活では副部長を努め、部員全員に連絡事項が行き渡るように伝えたり、文化祭の演出を考えたりというような裏方の仕事もしました。

高校1年生から志望校を決めるために、色々な学校のオープンキャンパスに参加したり、パンフレットを取り寄せたりしました。オープンキャンパスに行ってもわからないことや気になることを質問し、学校の雰囲気や先輩方が頑張っていることなどを知ることができました。

志望校を決めた後は、オープンキャンパスでもらった過去問と進路室で過去問を借りて解きました。問題はすべて選択問題だったので、国語の漢字など分からなかったところは自分で調べました。文学史の問題が苦手だったので何回もライトパーフェクトの問題集を解き、試験直前にも見直しをしました。数学のわからない問題は、教科書で解き方を調べたり、先生や友達に教えてもらったりしました。入試は面接もあったので、面接ノートを作り、複数の先生に面接指導をしてもらいました。面接練習では、ノートに書いたことをそのまま言うのではなく、言いたいことをキーワードで覚えて言うようにしました。たくさん面接練習をしたので、本番ではあまり緊張せずにリラックスして面接を受けることができました。

～短期大学～

香蘭女子短期大学 食物栄養科 学校推薦型 指定校入試合格

私が香蘭短期大学を希望したのは、母親と親戚が香蘭の卒業生で、とくに親戚が食物栄養科の卒業生だったので、二人からよく話を聞いているうちに、食を通して人を笑顔にするのはとてもやりがいのある仕事だと感じるようになったからです。

そのために頑張ったことは、推薦をもらえるように欠席をなるべくしないこと、通知表の平均を4.5以上取ること、テストの点数をできるだけ高く取れることを頑張りました。中学校では成績があまり良くなかったので授業をしっかりと聞いてノートをとりました。そのおかげで、高校の評定ではほとんどの教科で5をもらえました。だから、1・2年生から休まずに日々の学校生活をおくることが大事だと思います。

私の苦手な科目は生物なのですが、食物栄養科では生物の知識が必要なので、今のうちから勉強し、苦手意識を克服できるように頑張りたいです。

面接練習は先生に指導してもらいました。最初はドアの開け方から注意を受けていました。しかし、放課後の時間を使って、色々な先生方に練習をお願いして何回も練習するうちにできるようになりました。たくさん練習をしていく中で大切だと思ったことは、全部暗記するのではなく単語や言いたいことをある程度覚えることです。本番では絶対に緊張するので、頭が真っ白になっても言えるように何回も練習することが大事だと思いました。また、部活動や委員会活動体育祭リーダーなどを一生懸命しておく面接のときに言うことができるといいと思いました。

2年生までは受験はまだ先のことだと思っていました。しかし、3年生になったらあっという間に受験がきてしまいました。先生方が「あっという間に来るぞ」という意味がわかりました。だから、これから受験をする人は早い時から準備をしておく焦らずに受験に挑むことができると思います。

福岡子ども短期大学 こども教育学科 指定校推薦合格

中学生のころ勉強は得意ではなかったため、中学生の受験で、自分の成績で入れる高校の選択肢が少なかったという経験をしました。だから、自分の行きたい大学、短期大学、専門学校が見つかった際、自分の学力が足りなくていきたい学校にいけなくなるのは嫌だと思い、高校では勉強をがんばりました。

1年生から授業中は先生の話をしっかり聞き、大事なことをメモしたり、家でその日習ったことを復習したり、中学の内容の勉強をしたりしました。また、太宰府高校はテストの点数だけで評定をつけられるだけではないと聞いていたので、提出物の期限をしっかりと守ることも気をつけました。そして、テスト2週間前から対策プリントや授業中に自分がとったノートを活用し、夜も朝も勉強をしました。家で勉強したときに分からなかったところは次の日に先生や友達に聞くようにして、テストで1点でも多く点数が取れるように努力しました。このような地道な努力を続けることで、次第に成績が上がっていき、自分の成績で行ける短大を探すのではなく、自分の行きたい短期大学を志願することができました。

福岡子ども短期大学の推薦入試では、面接があるので面接練習をしました。相手の目を見て話すことが苦手だったので、常に相手の目を見て話すことを意識し、試験当日では相手の目を見ながら笑顔でハキハキと緊張せずに答えることができました。その結果、自分の行きたい短期大学に合格することができました。

～専門学校～

福岡リゾート＆スポーツ専門学校 スポーツ保育科 AO入試合格

私は、高校1年生の半ば頃に子供とスポーツを通して関わる仕事に就きたいと思うようになりました。そのきっかけは私の母が保育士ということもあり、母からたくさん話を聞くうちに少しずつ興味を持ったことです。元々私は、子供をお世話することが好きで、従姉妹のお世話などをしていました。その影響もあり、進路について考えた際に「スポーツ保育科」という学科に興味を持ちました。オープンキャンパスや、体験授業などを受けた際に、ここなら自分の夢のために頑張れると思い志望しました。

AO入試だったので、休みの日に家や学校で実際に面接練習をしました。試験本番では、練習通り完璧に行う事ができました。また、私は、特待生入試も受験しました。その入試も完璧に行うことができました。

進学後は、高校で培ってきた知識を使い、専門学校での勉強を一生懸命頑張りたいと思います。また、子供と関わるということは、コミュニケーションの能力も必要です。私は、人と話すのは得意なので、積極的にこの実力を発揮していきたいと思います。そして、母に保育士とはどのような仕事なのか、どんなことが大事なのかをもっと聞き、学びたいと思っています。将来、保育士になるという夢に向かってこれからも頑張ります。

大原保育医療福祉専門学校 介護福祉士コース AO入試合格

私は大原保育医療福祉専門学校介護福祉士コースに合格しました。試験区分は総合型選抜のAO入試です。入試方法はAO面談と書類選考がありました。

次に受験先を決めた時期ときっかけです。私が受験先を決めた時期は3年生の7月で、きっかけは部活動の顧問の先生の勧めです。決めた理由は自分の取りたい資格が取れることと、同じ分野でも他の専門学校のオープンキャンパスに参加したときと比べて一番楽しいと感じたからです。

次に高校生活の過ごし方です。1・2年生では主に部活動を頑張り、休みの日には友達とオープンキャンパスに行きました。そしてオープンキャンパスにいった学校から、3年生の夏に行われた三者面談で志望校を決定しました。

最後に「しておいて良かったこと」です。私がしておいて良かったと思ったことは、とにかく色々な学校のオープンキャンパスに行くことです。そして、特に興味のある学校のオープンキャンパスには何回も行き、たくさん質問をして慣れることです。そうすることで、面接の時に緊張することがなくなります。合格のためには、その他にも部活と勉強の両立や友達、先生方など色々な人に相談をして不安をなくすと自信をもって受験に挑めると思います。

公務員編

福岡県警察合格

私が警察官を志望した理由は2つあります。

1つ目は、私が小学4年生のとき筑紫野警察署で働く警察官の方を見た時のことです。その警察官の方は、地域の家を訪問し、巡回連絡などをしながら、地域の方とコミュニケーションを取っていました。そうすることで、地域の方々にとっても慕われていました。そのような姿を見て、私も地域の方々に寄り添い、安心安全な暮らしを守る警察官になりたいと考えるようになりました。

2つ目は、私は幼い頃から剣道をしています。剣道で培った体力や精神力を仕事で活かしたいと思ったからです。また、私はとても剣道が好きなので、これからも剣道を続けていきたいと考えたときに、警察はその環境が整っていると考えたからです。

警察官の試験は1次試験に筆記試験・体力試験、2次試験に人物試験があります。それらの試験に合格するために私がしたことは主に2つあります。

1つ目は、筆記試験対策です。普段学校で習うことのない、判断推理という教科や、数的推理、文章理解などといった教科が筆記試験で出題されます。これらの教科の問題を解けるようになるためには、人によるとは思いますが、時間がかかります。そのため太宰府高校で実施されていた公務員講座などを利用し、早い段階から勉強に取り掛かりました。また、公務員専門学校で夏休みに開かれていた夏期講習に参加させてもらいました。

2つ目は、面接練習です。警察官の試験で1番配点が高いのが人物試験です。そのため、面接練習には1番力を入れました。警察官の知り合いの方がいたので、その方に自分の考えた面接ノートを添削していただいたり、入退室の仕方なども教えていただいたりしました。また、家族や友人、先生方をお願いして面接練習に付き合ってくださいました。

自衛隊一般曹候補生（陸上）合格

私が自衛隊を受けると決めたとき、最初にしたことは近くの本屋で入試の過去問を買ってくることでした。最初にこれを行った理由としては、実際に自分の近くに試験に関連するものを置き、自分の今いる立場を強く意識することが目的でした。自分が今どんな立場にいるかをしっかりと認識することによって、目標としている場所にどうやって進んでいけば良いか知ることがができます。受験の始まりでまず大事なものは、自分が今いる場所と目標との距離をはっきりさせることです。

次にしたことは勉強です。過去問を近くにおいたところで内容を覚えられるわけではありません。最初のページから、問題を用意したノートに解いていき見開き1ページ終わる度に丸付けをしていました。そして間違った問題には印をつけておき、後でもう一度解き直していました。解き直す際に重要な事は、最初の答え合わせのときにしっかりと答えを見て自分がなぜ間違ったのかを理解することです。この過程を怠れば何度解き直しても意味がありません。答え合わせをするときにはただ〇×を付ける「作業」としてではなく正しい答えを理解するための「勉強」としてやるのが重要です。

最後にやったことは面接練習です、私の場合は試験内容に面接が含まれていたため、この練習はとても重要なものでした。この練習の大変なところは理解すれば同じような間違いをしない勉強とは違って、間違っただけを治すのに理解したとしても、癖のように不意にその間違いが出てしまうことです。間違いを強く意識している時には大丈夫なのですが、面接官役の先生の質問に答えているときや、面接が全て終わり部屋を出るときなどは、一度注意を受けた行動をとってしまっていました。

最後に私が受験を終えて思ったことは、自分の目標に向かって本気で行動することは、結果はどうかあれ今後の人生に大きな影響を与えるのだということです。

株式会社 ドラッグストアモリ

私が株式会社ドラッグストアモリを志望したきっかけは、求人票がのっているサイトで見たことです。求人票で職場見学ができることを知り、見学に行きました。見学に行くと、働いている人の仲が良さそうで働きやすそうだと思います。また、説明を聞いて働きながら資格をとる事ができるということを知って株式会社ドラッグストアモリで働いてみたいと思いました。

私は、最初やりたい仕事が決まっていなかったので勉強を頑張りました。考査平均が75点以上のものに与えられる賞を目標にしました。授業の内容をしっかりと聞いて、テスト前2週間になるとわからない問題を何度も解いたり先生に質問をしたりしました。その結果、3年次の1学期期末考査ではその賞をもらうことができました。

株式会社ドラッグストアモリを受けることが決まってからは、面接練習をしました。私は、放課後に先生に頼んだり、友達と練習をしたりしました。たくさん質問内容を考えて、その質問にあった答え方ができるように練習をしました。面接当日は、緊張せず練習をしたとおりに質問に受け答えすることができました。面接以外に試験がありました。試験では漢字の読み書きや四字熟語、お金の計算、ドラッグストアモリについての問題が出ました。企業について調べていたので、しっかり答えることができました。

今後は、しっかりと接客ができるようにたくさん勉強をしていきたいと思っています。

株式会社ロピア

私は、株式会社ロピアというスーパー系列の店舗に内定をもらいました。私は、3年生の途中まで進学するか迷っていました。しかし、先生や親と話し合っ最終的には就職をすることにしました。そこで、どの職場にしようかと求人票を見て探していた時に、先生から株式会社ロピアのチラシをもらいました。求人票を見つけ、その会社について、沢山調べました。職場見学に参加し、どのような店舗なのか、お客さんに対して、どのような対応をしているのかなどとても勉強になりました。

就職試験については、準備がすごく大変でした。私は職場をすぐ決めきれず、ぎりぎりになって決めただため、準備期間が少なく、とても大変でした。特に、面接練習は、5回くらいしかできず、とても苦労しました。そのため、できるだけ早く行きたいところを決めて、その企業について調べ、早くからSPIや一般常識などの勉強をしたり面接練習を10回以上したりすることが大切です。

面接は、一人の先生だけに限らず、複数の先生にしてもらったり、友達に手伝ってもらったりして、たくさん練習することが大切です。先生方に多くのアドバイスや、指導をもらったお陰で、今回私は内定をもらうことができました。もし次他の試験や検定がある時は、この経験を思い出して一生懸命取り組んでいきたいと思っています。